15 左官工事

・軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状・工法	防火材料
・吹付用軽量骨材	砂壁状	・
・こて塗用軽量塗材	平たん状	・

・ ＡＬＣパネルの場合の下地処理 (15.6.4)

内壁目地部の形状 ※Ｖ形目地付き ・

・ マスチック塗料塗り (15.7.2)

種別 ・Ａ種 ・Ｂ種

・ せっこうプラスター塗り (15.8.3)

下塗り
・既調合プラスター（下塗り用）
・現場調合プラスター（下塗り用）
上塗り
・既調合プラスター（上塗り用）
・しっくい塗り

・ ロックウール吹付け (15.12.2、3)

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・
仕上げ吹付け厚さ(mm) ・図示 ・ 25 ・

・ しっくい塗り (15.10.2、3)

しっくい
・現場調合材料 ※標準仕様書15.10.2(1)(7)による
・既調合材料
製造所 （ ）
種類 （ ）
下地
※木ずり、こまい土壁塗り、せっこうラスボード、せっこうボード

調合及び塗厚
・木ずり下地の場合 ※標準仕様書表15.10.1
・こまい土壁下地の場合 ※標準仕様書表15.10.2

・ こまい壁塗り (15.11.2~5、7、8)

のり
・土壁用ののり ・ふのり ※つのまた ・ぎんなんそう
・粉末海藻 ・
・砂壁用ののり ※ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり
・にかわ ・合成樹脂系糊和剤 ・
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類 （ ）
・大津仕上げに用いる色土の種類 （ ）
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
調合
下塗りの調合 ・
※標準仕様書表15.11.2
塗厚
※標準仕様書表15.11.3による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合
（ ）

工程 ※Ａ種 ・Ｂ種
・土物仕上げ
種類 ・土物仕上げ工法
・水ごね土物１工法 ・水ごね土物２工法
・のりさし土物工法 ・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
・大津仕上げ
種類 ・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法

16 建具工事

・ 防火戸 (16.1.3)

・建具表による ・ ・

・ 見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ）
⊙行わない
建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する
・納まり等が分かる程度のもの
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
⊙行わない

・ 防犯建物部品 (16.1.6)

・適用する（・建具表による ・ ）
・適用しない

⊙ アルミニウム製建具 (16.2.2、4、5)（表14.2.1）(表16.2.1)

性能等級
耐風圧性の等級（⊙ S-4 ・ ）
気密性の等級 （⊙ A-3 ・ ）
水密性の等級 （⊙ W-4 ・ ）
外部に面する建具の種別
⊙Ａ種（建具符号：⊙建具表による ・ ）
・Ｂ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｃ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｄ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｅ種（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア,断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
枠の見込みず法 ⊙建具表による ・
表面処理
外部に面する建具
種別 ⊙BB-1 BB-2（※標準仕様書表14.2.1）
着色 ⊙標準色 ・特注色
屋内の建具
種別 ・BB-1 BB-2（※標準仕様書表14.2.1）
着色 ・標準色 ・特注色
結露水の処理方法 ※図示 ・
水切り板、ぜん板 ※図示 ・

⊙ 網戸等 (16.2.3)

種類	材種	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ステンレス（SUS316）製	※0.25mm以上 ・	※16~18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス（SUS304）線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具 (16.2.5) (16.3.2~5)（表16.3.1）

性能等級
性能値等
耐風圧性の等級（・ ）
気密性の等級 （・ ）
水密性の等級 （・ ）
外部に面する建具 ・Ａ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｂ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｃ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｄ種（建具符号：・建具表による ・ ）
・Ｅ種（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・Ｔ－１ ・Ｔ－２）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア,断熱サッシ G 断熱性の等級（・Ｈ－４・Ｈ－５・Ｈ－６・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法 ・建具表による ・
表面色 ・標準色 ・特注色
水切り板、ぜん板 ※図示 ・
ガラス ※複層ガラス ・

⊙ 鋼製建具 (16.2.2) (16.4.2~4)（表16.4.2）

性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
⊙適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ⊙S-4（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-5（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）
・
防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア,断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による

⊙ 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)

性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
⊙適用しない
防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア,断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ⊙カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
鋼板の厚さ（mm） ・ 使用箇所（ ）
※標準仕様書表16.5.1による
召合せ、縦小口包み板の材質 ・ ※鋼板

・ ステンレス製建具 (16.2.2) (16.4.2) (16.6.2~5)

性能等級
簡易気密型ドアセット ・適用する （建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-5（建具符号：・建具表による ・ ）
・S-6（建具符号：・建具表による ・ ）
・
防音ドア,防音サッシ 遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア,断熱サッシ G 断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
耐震ドア 面内変形追随性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
ステンレス鋼板 ・ ※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
表面仕上げ ※ＨＬ ・鏡面仕上げ ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

・ 木製建具 (16.7.2~4)

建具材の加工、組立時の含水率 ※日種 ・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・

・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ｱｸﾘ程度 ・ ） 不透明塗料塗り （※しな程度 ・ ） 板面の品質（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・天然木 化粧合板 G	樹種名（ ） 接着の程度（・1類 ・2類 ）	
・特殊加工 化粧合板 G	化粧加工の方法 （・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾞﾗｯﾄ ・塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（・1類 ・2類 ）	

表面板の厚さ ※表16.7.6による ・

・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外） ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・

枠、くつずりの材料 ・建具表による ・・

⊙ 建具用金物 (16.8.2、3)(表 16.8.1)

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※標準仕様書表16.8.1及び適用は建具表による ・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
・建具表による
※標準仕様書表16.8.3による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
・建具表による
※標準仕様書表16.8.3による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
・建具表による
※標準仕様書表16.8.4による
木製建具に使用する戸車及びレール
・建具表による
※標準仕様書表16.8.5による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による ・・
⊙錠前類（シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠）
（品質）
デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。
（性能） 別表による
⊙錠前類 （レバーハンドル）
（性能） 別表による
⊙クローザ類
（品質・性能・試験方法） 別表による

⊙ 鍵 (16.8.4)

マスターキー ⊙製作する ・製作しない
鍵の製作本数 ※各室３本１組（室名札付き） ・
鍵箱 ※有り ・無し

・ 自動ドア開閉装置

・引き戸用駆動装置 (16.9.2、3)
性能値 ※標準仕様書表16.9.1
・種類・開閉方式 （ ）
・耐電圧 （ ）
・温度上昇 （ ）
・耐久性（サイクル） （ ）
・防錆 （ ）
・電源 （ ）

・多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置
性能値 ※標準仕様書表16.9.2
・耐電圧 （ ）
・温度上昇 （ ）
・耐久性（サイクル） （ ）
・防錆 （ ）
・電源 （ ）

・引き戸用検出装置
性能値 ※標準仕様書表16.9.3
・耐電圧 （ ）
・防錆 （ ）
・防滴 （ ）
・電源 （ ）

戸の開閉方式
・建具表による ・
引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.4
・建具表による ・
凍結防止措置
・適用する ・適用しない

⊙ 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)（表16.10.1）

性能値等 ※（表 16.10.1）
・手動開き力 （ ）
・手動閉じ力 （ ）
・閉じ速度の調整 （ ）
・制動区間 （ ）
・開閉繰返し （ ）
・耐荷重性 （ ）
（試験方法）
別表による

・ 重量シャッター (16.11.2、3)

シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m²
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m²
・屋内用防火シャッター
・屋内用防煙シャッター
開閉方式の種類 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所
・図示 ・
障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 ・
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構
・設ける （設置箇所 ・図示 ・ ）
「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48 年12 月28 日
建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの
※障害物感知装置（自動閉鎖型） ・可動座板式
・設けない
管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・

⊙ 軽量シャッター (16.12.2~4)

開閉形式の種類 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）N/m²
スラットの材質 の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

・ オーバーヘッドドア (16.13.2、3)

セクション材料による区分	耐風圧性能区分(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125（1250） ・100（1000） ・75（750） ・50（500）	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 ・ ・

⊙ ガラス (9.7) (16.14.2~4)（表16.14.1）

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
⊙建具表による

⊙型板ガラスの厚さによる種類
⊙建具表による

・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による ・
形状による種類
・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ－１類 ・Ⅱ－２類 ・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
・建具表による ・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
性能による種類
・１種 ・２種

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
⊙建具表による ・
断熱性による区分
・Ｔ１ ・Ｔ２ ・Ｔ３ ・Ｔ４ ・Ｔ５ ・Ｔ６
日射取得性、日射遮蔽性による区分
・Ｇ ・Ｓ
乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン ・

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
日射熱遮へい性による区分
・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・ Ａ類 ・ Ｂ類
映像調整 ・行わない ・行う

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による ・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材（SR-1） ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・図示 ・ ⊙建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材（SR-1）	・図示 ・ ⊙建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・シーリング材 ・	・図示 ・ ・建具の製造所の仕様による
樹脂製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	・図示 ・ ・建具の製造所の仕様による

17 カーテンウォール工事

・ガラスブロック

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調 クリア	色調 乳白	目地幅(mm) 平積み	目地幅(mm) 曲面積み	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・	・	※8～15	外側	※6m以下ごとに幅10～25	
	・160×160	・95 ・125	・	・	・15～25 ・	※15以下 ・ 内側 ※5以上 ・	・図示 ・	※無し ・有り
	・200×200	・95 ・125	・	・				
	・320×320	95	・	・				
・長方形	・250×125	80	・	・				
	・320×160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
壁用金属枠及び補強材
※図示

カ骨　材質　・　　※ステンレス鋼(SUS304)
寸法　・　　※径5.5mm
形状　・　　※はしご形状被筋及び単筋
化粧目地モルタルの色（　　）
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
寸法　※図示　・
形状　※図示　・
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
目地部の横カ骨の納まり
・　　・図示　　※ガラスブロック製造所の仕様による

・取付方法、性能等

(17.1.3) (17.2.2) (17.3.2)

取付方法　・層間方式　・柱・梁方式　・方立方式　・スパンドレル方式　・
性能

耐震性能 水平方向(kH)	耐震性能 垂直方向(kV)	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能	耐温度差性(℃)
・1.0 ・	・0.5 ・					・30分 ・1時間	・60 ・70 ・60

耐風圧性能
建築基準法に基づき定まる風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ・ ・
4mを超える	・

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）
鉄骨造	・
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・

構造用ガスケット
・適用する　(施工箇所　・図示　・　　)
材質　・クロロプレン系　・EPDM系　・シリコーン系
形状　・H型　・Y型　・C型
寸法(mm)　ガラス板厚（　）、支持枠の厚さ（　）、ウェブの寸法（　）
・適用しない

断熱材 G
種類（　　）
厚さ(mm)（　）
施工箇所　・図示　・

耐火材料

施工部位	種別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		
・		

・メタルカーテンウォール

(17.2.2、3、5)

金属系材料の種類
・アルミニウム材　　・鋼材　　・ステンレス鋼材
(アルミニウム材の場合)
規格等　標準仕様書16.2.3による
種別　・　　(標準仕様書表14.2.1)
着色　・　標準色　・　特注色
映像調整　・行う　・行わない

形状及び仕上げ
製品の寸法許容差　・　　※標準仕様書表17.2.1による
見え掛かり部の仕上げ　・
ガラス溝の寸法、形状等　・　　※カーテンウォールの製造所の仕様

取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向　・　　※±10mm
水平方向　・　　※±25mm

カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅　・　　※±3
目地の心の通り　・　　※+2
目地両側の段差　・　　※+2
各階の基準墨から各部材までの距離　・　　※±3

シーリング材の種類
・
ガラスの取付け材料
・シーリング
種類　・
・構造ガスケット
形状・寸法等　・図示による
断熱材 G
種類（　　）

・PCカーテンウォール

(17.3.2～5)(表17.3.1、2)

材料
コンクリート　種類（　　）
品質　設計基準強度(Fc)　・　　※　30N/mm2
スランプ　・　　※　12cm
気乾単位容積質量
・
・普通コンクリートの場合
2.1t/m3を超え2.5t/m3以下
単位水量の最大値　・　・　　※185kg/m3
鉄筋　種類の記号　※SD295A（　・　　）
補強鉄線
径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
網目寸法　・
シーリング材の種類
・

耐火目地材　・
断熱材 G
種類（　　）

ガラスの取付け材料
・シーリング
種類　・
・構造ガスケット
形状・寸法等　・図示による
先付けの材料
・表面仕上材
・磁器質タイル
・石材（・花こう岩　・大理石　・　）
・
・建具枠．
・ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
・辺長　■　対角線長の差　■　版厚　■
開口部内法寸法　■　ねじれ、そり　■
曲がり　■　面の凹凸　■　先付け金物の位置　■
カーテンウォールの仕上げ　・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・
・　躯体取付金物の取付け位置の寸法許容差　　※標準仕様書表17.3.2による

18 塗装工事

⊙ 材料

(18.1.3)

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
⊙防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

⊙ 素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面		※C種　・A種　⊙B種
亜鉛めっき鋼面		・A種　⊙B種
モルタル面及びプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		※A種　・B種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地：継目処理工法	※A種　・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

⊙ 錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面等		工程の種別	塗料の種別
鉄鋼面	見え掛り部分	※A種　・B種	・A種　・B種
	見え隠れ部分	※B種　・A種	EP-G（屋内）の場合 ※B種　・A種
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種　・B種	・A種　・B種
	鋼製建具等以外	※B種　・A種	・C種 (EP-Gの場合C種)

⊙ 塗装

(18.4.1～18.14.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用 G
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	※1種　・2種	
	木部屋内	※B種　・A種	※1種　・2種	
	鉄鋼面	※B種　・A種	※1種　・2種	・
	亜鉛めっき鋼面	－	※1種　・2種	・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	－	
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	－	
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	－	上塗り塗料の等級(　)級	・
	亜鉛めっき鋼面	－	上塗り塗料の等級(　)級	・
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形セメント板面	・A種　・B種 ・C種		
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	※B種　・A種	－	
	屋内の鉄鋼面	※B種　・A種	－	
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種	－	
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種　・A種	－	
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)		※B種　・A種	－	
・オイルステイン塗り(OS)		塗料：・水性 ・油性	－	
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	－	

高日射反射率塗装 G を適用する場合の適用箇所は壁上、屋根面の金属面とする

19 内装工事

⊙ 接着剤

(19.2.2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ 規制対象外　・
接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示　・

⊙ ビニル床シート G

(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS（複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ）・	・無地 ⊙ﾏｰﾌﾞﾙ柄 ・柄物	※ 2.0 ⊙ 2.5	

目地処理する場合の工法　・　　※ 熱溶接工法

・ビニル床タイル G

(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
※KT（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・3.0	
・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・	・	

・特殊機能床

(19.2.2)

・帯電防止床シート
種類　（　　）
性能　（　　）
厚さ　（　　mm）
・帯電防止床タイル
種類　（　　）
性能　（　　）
寸法　厚さ　（　　×　　mm）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による
種類　（　　）
形状　（　　）
・耐熱荷重性床シート
種類　（　　）
厚さ　（　　mm）
・防滑性床シート
種類　（　　）
厚さ　（　　mm）
・防滑性床タイル
種類　（　　）
寸法　厚さ　（　　×　　mm）

⊙ ビニル幅木

(19.2.2)

材質の種類　⊙軟質　・硬質
高さ(mm)　※60　⊙75　・100
厚さ(mm)　・　　※1.5以上

・ゴム床タイル

(19.2.2)

種類　・単層品　・被層品
色柄　（　　）
厚さ(mm)　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　　）

⊙ カーペット敷き G

・織じゅうたん　(19.3.3、4)(表 19.3.1)

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット	・カットパイル
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル

色柄（・　　※模様のない無地）
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性　・適用する　・適用しない

織じゅうたんの接合方法　※ヒートボンド工法　・
下敷き材　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7　・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ 工法	・適用する （　　） ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm　・

・ニードルパンチカーペット
厚さ (mm)　（　）
帯電性　・適用する　・適用しない
備考（　　）

⊙タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備 考
※ ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	
・ カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500 ・	※ 6.5 ・	

タイルカーペットの敷き方　平　場　※市松敷き　・模様流し　・
階段部分　※模様流し　・市松敷き　・
見切り、押え金物
材質　（　　）
種類　（　　）
形状等　※図示　・

・合成樹脂塗床

(19.4.2、3) (表 19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床材		・薄膜流し展べて工法 ・厚膜流し展べて工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗料のホルムルデヒド放散量　※規制対象外　・

・フローリング張り G

(19.5.2～6)(表 19.5.1～5)

・単層フローリング　(フローリングボード１等)
工法　・釘留めの工法（　・根太張り　・直張り）　・接着工法
樹種　・　・　※ なら
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

・単層フローリング　(フローリングブロック1等)
樹種　・　・
厚さ　・
大きさ　・
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

・複合フローリング
工法　・釘留めの工法（　・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種　・　※ なら
種別　・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用　・適用する　・適用しない

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　※ 規制対象外　・
接着工法の場合の裏面緩衝材　※合成樹脂発泡シート　・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

・畳敷き

(19.6.2)(表 19.6.1)

種別　・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類　・標準仕様書　表12.6.1による床組
・ポリステレンフォーム床下地（ノンフロン G）
・

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

⊙ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

合板類、MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
・ 木質系セメント板 G	
・ 木毛セメント板 ・ 硬質　・ 中質　・ 普通	・ 15　・ 20　・ 25　・
・ 木片セメント板 ・ 硬質　・ 普通	・ 12　・ 15　・ 18　・ 21　・30　・
・ 繊維板 G	
・ MDF（普通）	・ 3　・ 7　・ 9　・ 12　・
・ ハードボード（素地）	・未研磨板（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） RN ・研磨板　（・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞ） RS
・ ハードボード（化粧）	・内装用 DI ・外装用　DE ・ 2.5　・ 3.5　・ 5　・ 7
・ インシュレーションボード	A級（天井仕上げ　・内装仕上げ　・　） ・ 9　・ 12　・ 15　・ 18
・	・
・ パーティクルボード G	
・ 単板張りパーティクルボード	・ 無研磨板 VN　・ 研磨板　VS ・ 10　・ 12　・ 15　・ 18　・
・ 化粧パーティクルボード	・ 単板ｵｰﾊﾞﾚｲ DV・ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞﾚｲ　DO ・ 塗装 DC ・ 10（難燃）・ 12（難燃）・
・	・
⊙ 吸音材料	
⊙ ロックウール化粧吸音板	⊙ フラットタイプ（・ 9(不燃) ⊙ 12(不燃) ・　） ・ 凹凸タイプ（・ 12(不燃)　・ 15(不燃) ・　）
・ ロックウール吸音ボード (1号)	・ 25　・
・ グラスウール吸音ボード (32K)	・ 25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包）　・
・	・
⊙ せっこうボード	
⊙ せっこうボード	※9 12.5（不燃）　・ 15（不燃）　⊙9.5（準不燃）
・ 不燃積層せっこうボード	9.5（不燃）　・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様）
⊙ シージングせっこうボード	12.5（⊙不燃　・準不燃）
・ 強化せっこうボード	・ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）
・ せっこうラスボード	9.5
・ 化粧せっこうボード	・ 木目　12.5（不燃）幅 440mm 程度 模様（・ 桜目　・ 板目）専用下地材有り ・ ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様　9.5（準不燃）
・	・
⊙ 普通合板 G	表板の樹種名　・ 板面の品質（　） 厚さ　※図示　・ 接着の程度　・1類　・2類 防虫処理　・行う　・行わない

・天然木化粧合板 G

化粧板の樹種名 ・
厚さ ※図示 ・
接着の程度 ・1類 ・2類
防火処理 ・行う ・行わない

・特殊加工化粧合板 G

化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ・ﾌﾟﾘﾝﾄ・塗装・ ）
表面性能 ・
厚さ ※図示 ・
接着の程度 ・1類 ・2類
防火処理 ・行う ・行わない

⊙ けい酸カルシウム板（タイプ 2） ⊙ 6 ・ 8 ・

・メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による （※ 1.2 ・ ）

・ポリエステル樹脂化粧板 ・

・ ・

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材 ・適用する（・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド）
・適用しない

合板類の張付け ※B種 ・A種
せっこうボードの目地工法 ・仕上表による ・

・壁紙張り

(19.8.2、3)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	プラスチック	無機質	その他	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ※B種 ・A種
コンクリートの素地ごしらえ ※B種 ・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種 ・A種

⊙ 断熱材 G

(19.9.2、3)

フェノールフォームを使用した断熱材のホルムアルデヒド放散量

・断熱材打込み工法

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・
⊙ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）	⊙50	・
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・
・フェノールフォーム断熱材	・	・
	・	・
		・

⊙断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ ※A種1またはA種1H
吹き付け厚さ（mm） ⊙25 ・30 ⊙15
施工箇所 ⊙図示 ・
⊙現場発泡断熱材
（品質・性能・試験方法）
別表による

20 ユニット及びその他の工事

⊙ フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
図示	・置敷式 ⊙支柱調整式	⊙500×500 ・	100	・1.0G ・0.6G	・ ⊙3000 ・ ・5000	・帯電防止床ﾀｲﾙ ⊙ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
・ ※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
パネルの長さ
※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内
500mm以下の場合 ±0.5mm以内
・
パネルの平面形状（角度）
※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内
500mm以下の場合 ±0.5mm以内
・
フリーアクセスフロアの高さ
※ ±0.5mm以内
・
（性能・試験方法）
別表による

・可動間仕切

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スタッド	パネル	表面仕上材 パネル表面仕上げ	遮音性(db/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱｸﾘﾙ樹脂焼 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具 ・あり（※図示 ・ ） ・なし
ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用建物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※JIS A 6512によりF★★★★以上

・移動間仕切

(20.2.4)

構造形式	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面仕上材 材質	パネル表面仕上げ	遮音性(db/500Hz)
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする
ハンガーレールの取付け下地の補強
・図示
※取付け金具重の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
ランナー
・
※パネル重量の５倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。

（品質・性能及び試験方法）
別表による

⊙ トイレブース

(20.2.5)

表面材の種類	脚部 形状	ドアエッジ 形状	材質
⊙ メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	・標準 ⊙ R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ⊙ 表面材と同材

（品質・性能・試験方法） 別表による

⊙ 階段滑り止め

(20.2.6)

材種 ⊙ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 ・ ）
滑り止め材 形状 （ ・ひも型 ⊙タイヤ型 ）
材質 （ ゴム又は合成樹脂 ）
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法
幅(mm) ・ 端部フラットエンド（・あり ⊙なし）

・手すり

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材	・クリアラッカー ・	・35 ・45 ・		
・ビニル製ハンドレール	・			

・黒板及び
ホワイトボード G

(20.2.8)

・黒板
区分 ・ ※焼き付け
種類 ・ ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・
色 ・ ※緑
・ホワイトボード

⊙ 鏡

(20.2.9)

取付箇所 （ 図示 ）
寸法(mm) ⊙ 図示 ・
厚さ(mm) ※ 5 ・

⊙ 表示

(20.2.10)

⊙衝突防止表示
形状・寸法 （ ⊙３０φ ・ ）
材質 （ ⊙ステンレス製 ・ ）

案内用図記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示
・適用する（※消防法に適合する市販品 ・ ）
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。
その他の表示 ※図示

・煙突ライニング

(20.2.11)

・煙突用成形ライニング材
（品質・性能・試験方法）
別表による

⊙ ブラインド

(20.2.12)

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅(mm)	ボックス・レールの材種	幅・高さ 取付箇所
⊙横型	⊙手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製 G ・	※ 25 ・	※鋼製 ・	⊙図示 ・
	・電動	―				
・縦型	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・ アルミスラット ・ クロススラット ・	・ 80 ・ 100	ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製	・図示 ・
	・電動	―				

スラットの材質
⊙アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。

・ロールスクリーン G

(20.2.13)

操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式
幅・高さ ・図示
材種 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製
品質等 ・
その他の材料 ・ ※ロールスクリーンの製造所の仕様による

⊙ カーテン

(20.2.14)

形式	開閉操作	ひだの種類	合成地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
⊙シングル ・ダブル	・片引き ⊙引分け	⊙手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ⊙プレーンひだ、片ひだ		⊙図示 ・	
						(暗幕)

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする。
暗幕カーテンの開幕、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

⊙ カーテンレール

(20.2.14)

材料による区分
※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材
・ ステンレス製
強さによる区分 ※10-90 ・
仕上げ ※アルマイト ・
形状 ※角形 ・

・ブラインドボックス
及びカーテンボックス

清型×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集成材（仕上げ： ）
・アルミニウム製 押出し型材（市販品）
種別（標準仕様書14.2.1） ・BC-1 ・BC-2
色合い ・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）

⊙ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形	・屋内外用 ⊙屋内用	⊙額縁タイプ ・目地タイプ	⊙額縁タイプ ・目地タイプ
		・気密形			

（品質・性能・試験方法）
別表による

⊙ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ⊙ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	・一般形 ⊙密閉形	・屋内外用 ⊙屋内用	・鍵付き

（品質・性能・試験方法）
別表による

・耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直方向 ・水平方向	※ 完全（全質通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛かりのみ) ・	・シーリング材(見え掛かりのみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・幅20×深さ10 ・ ・	・幅20×深さ10 ・ ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

⊙ 止水板

形式 ⊙ 差込式 ・溶着式 ・ 壁張り式
施工箇所 ⊙ 図示 ・

・エキスパンション
・ジョイント金物

材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り（ ） ・無し	

外部は防水型とする

・くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

⊙ 流し台ユニット

⊙ミニキッチン（L=1200）

材種	寸法(mm) W	D	H	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ・1段式 ・

品質・性能
（1）外観は、JIS A 4420（キッチン設備の構成材）の4.1による
（2）構成材は、JIS A 4420により試験を行ったとき、表1の規定による。
形状 ※図示 ・

・旗竿

材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

・旗竿受金物

材 種 ・ ステンレス製（SUS 304） ・

・車止め支柱

形式		材種	径径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

⊙ フェンス

フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス ・アルミフェンス
高さ ⊙図示 ・

・プレキャスト
コンクリート

(20.3.3、4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m^2を満足する調合強度
・図示
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。
・図示
取付け方法
※図示

・間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2、3)

材種		種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	―	―	
・コンクリート間知ブロック	―		・A ・B	

積み方 ※谷積み ・布積み
目塗り ・図示
伸縮調整目地 材種 ・図示 ・
厚さ ・図示 ・

・鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種 ・

・屋内掲示板

枠の材質 ※ アルミニウム製
表面の材質 ※ 塩ビ発泡シート張り ・

⊙ 洗面カウンター

材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ⊙ 人工大理石
奥行き(mm) ・ 約 450 ⊙ 約 600

・防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨板ガラス ・ 絵入り磨板ガラス	※ 6.8 ・	※ 500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※ 不燃布（不燃認定品）	※ 500 ・800 ・	ガイドレール ※ 固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

・屋外掲示板

照明器具 ※ 有り ・ 無し
施 錠 ※ 有り ・ 無し
製造所

⊙ 収納家具

材質、形状、寸法 ※ 図示 ・
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外 ・

21 排水工事（屋外雨水排水及びグレーチング以外は外構図による）

⊙ 屋外雨水排水

材料

(21.2.1、2)(後 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管（１種）	・B形管 ・	※図示 ・	
⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G		※図示 ・	
	・RS-VU G		※図示 ・	
	⊙ VP		※図示 ・	
	⊙ VU		※図示 ・	

基床の厚さ及び種類 ⊙図示 ・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ・
側溝の形状及び寸法 ⊙図示 ・
排水桝の種類 ⊙図示 ・
砂地業に用いる材料
・シルト ⊙山砂 ・川砂 ・砕砂
砂利地業に用いる材料
⊙再生クラッシャラン G ・切込砂利又は切込砕石

⊙現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ・ ※18N/mm2
⊙現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A
⊙現場打ちの場合の足金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(ｲ)
材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料 ・
砂の粒度試験 ・行う
⊙行わない

・鋳鉄製ふた

(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	蓋	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式）	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－２０用 ・	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会 SHASE-S209による

⊙ グレーチング (21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メッシュピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
⊙鋼製	⊙受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた(横断用) ⊙溝ふた(側溝用) ⊙桝ふた用 ⊙U字溝用	⊙歩行用	⊙網目 ・	・(　　)	⊙凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ⊙T-20用	・普通目 ・網目	・(　　)	・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用	－	－	・凹凸形 ・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	－	－	・平形 ・

(品質・性能・荷重試験方法)
別表による

・ 街きょ、縁石及び側溝 (21.3.1、2)(表21.3.1)

街きょ、縁石、側溝

種類	形状、寸法
・縁石	・ 図示 ・
・L形側溝	・ 図示 ・
・U形側溝	・ 図示 ・
・U形側溝ふた	・ 図示 ・
・	・ 図示 ・

地業の材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
・再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
砂利地業の厚さ　※100 (mm)　・図示
・現場打ちの場合のコンクリート材料　設計基準強度　※18N/mm2　・
凍上抑制層に用いる材料　・
砂の粒度試験　・行う
・行わない

・ 埋戻し土 (21.2.1)
※ B種　・

22 舗装工事(舗装詳細図による)

・ 路床 (22.2.2、3、5)(表22.2.1)

路床の材料

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン G　・クラッシャラン　・切込み砂利 ・砂	・図示 ・
・フィルター層	・砂 ・	・図示 ・

・路床安定処理
安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法

路床安定化処理用添加材料
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰(　　)　・消石灰(　　)
添加量　・　kg/m3 (目標CBR　・3以上　・　)

・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m²以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上　・
透水係数　・1.5×10^{-3}cm/sec以上　・
試験
砂の粒度試験　・行う　・行わない
路床土の支持力比(CBR)試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない

・ 路盤 (22.2.2、3、5)(表 22.3.1)

路盤の厚さ　・図示　・
路盤材料

	種類
砕石	・クラッシャラン
	・粒度調整砕石
再生材	・クラッシャラン G
	・粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

路盤締固め度の試験　※行う　・行わない

・ アスファルト舗装 (22.4.2～6)(表 22.4.4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料及び種類
アスファルト　・再生アスファルト G　(・60～80　・80～100)
・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G

加熱アスファルト混合物等の種類
・密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)

シールコートの乳剤の種別
・PK-1　・PK-2

試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

・ コンクリート舗装 (22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示　・
	歩行者用通路	・図示	※70　・

車冷地の縁部立下り寸法等　・図示
材料
・コンクリートの種類　・
設計基準強度　・
所定のスランプ　※8　・
粗骨材の最大寸法　・
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ
目地
種類　・
間隔　・　m程度ごと
構造　・図示　・
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　・
※通行の支障となる水たまりを生じない程度

・ カラー舗装 (22.6.2～4)

・加熱系カラー舗装
構成・厚さ　・図示
加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量　(　　%)　・
着色骨材　(　　)
自然石　(　　)

・常温系カラー舗装
工法　・ニート工法　・塗布工法
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装　・

・ 透水性アスファルト舗装 (22.7.2、3、6)

適用範囲：歩道
構成　・図示　・
材料　骨材　・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G　(表22.4.1)
(種類　・60～80　・80～100)

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
砂の粒度試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　・　※著しい不陸がないもの

・ ブロック系舗装

・ コンクリート平板舗装 G (22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
※普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※ 60 ・	※砂 ・モルタル	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材　※砂　・空隙リモルタル
普通平板は G (再生材1料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は G (透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平たん性　・
※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする。

・ インターロッキングブロック舗装 G

種　類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm²)	備考
※ 普通ブロック (N) ・ 透水性ブロック (P) ・ 保水性ブロック (M)	車路	・図示 ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※ 普通ブロック (N) ・ 透水性ブロック (P) ・ 保水性ブロック (M)	歩行者用通路	・図示 ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材　※砂　・空隙リモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは G (再生材料を用いた舗装用ブロック)、
透水性ブロックは G (透水性コンクリート) とする。
仕上り面の平たん性　・・
※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。

・ 舗石舗装

種　類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	施工方法	基　層	基層の厚さ(mm)
・花崗岩 ・	・割石 ・図示 ・	・	・うろこ張り ・	・コンクリート平板	※70 ・
				・アスファルト混合物	※50 ・

クッション材　※砂　・空隙リモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは　(再生材料を用いた舗装用ブロック)、
透水性ブロックは　(透水性コンクリート) とする。
仕上り面の平たん性　・
※歩行に支障となる段差がないものとし、歩石間の段差は3mm以内とする。

・ジオテキスタイル
単位面積質量　・60g/m²以上　・
厚さ(mm)　・0.5～1.0　・
引張強さ　・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数　・1.5×10^{-3}cm/sec以上　・

・ 砂利敷き (22.9.2)

種別
・ A種 (施工範囲：・図示　・通路　・　)
・ B種 (施工範囲：・図示　・建物周囲その他　・　)

・ 路面標示用塗料

路面標示用塗料はJIS K 5665による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
※3種1号	融解	粉体状	・白 ・	・150 ・100	・1.0 ・
・1種 G	常温	液状			
・2種 G	加熱				

G 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

・ 植栽地の確認等 (23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験　・行う　・行わない
電気伝導度 (EC) の試験　・行う　・行わない

⊙ 植栽基盤の整備 (23.2.2、4)

樹木の植栽基盤の整備
・適用する　・ 適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100　・120　・150) 樹高7m以上～12m未満 (※80　・100) 樹高3m以上～7m未満 (※60　・80) 樹高3m未満 (※50　・60)	・業張り部分 ・植栽部分 ・図示 ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ⊙30 ・	・植栽部分 ⊙図示 ・	・適用する ⊙適用しない

植栽基盤の排水設備　・設ける (※図示　・　)　・設けない

⊙ 植込み用土 (23.2.3)

⊙現場発生土の良質土　・ 客土

・ 土壌改良材 (23.2.3)

土壌改良材の適用
・適用する　・ 適用しない

種別及び指定数量等
・ バーク堆肥 G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1m²あたり　(　・50L　・　)
・ 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) G
施工箇所　※植栽範囲　・図示
使用量　植栽基盤面積1m²あたり　(　・10L　・　)
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

・ 樹木 (23.3.2)

樹種、寸法、株立数等　※図示　・

・ 支柱 (23.3.2、3)

支柱材　※ 丸太 (間伐材) G　・ 真竹　・
防腐処理方法　※加圧式防腐処理丸太材　・
形式　・図示　・

・ 幹巻き用材料 (23.3.2)

材料
※ 幹巻き用テープ　・ わら及びこも

⊙ 芝 (23.4.2、3)

種類　※ コウライシバ　⊙ノシバ　・
芝張りの工法
平地　※目地張り　⊙べた張り
法面　・目地張り　※べた張り

⊙ 吹付けは種 (23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量 (g/m²)	備考
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上		
・	・		

・ 地被類 (23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

⊙ 新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損処置 (23.3.4、6) (23.4.7)

新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

・ 屋上緑化 G (23.5.2～4)

植栽基盤及び材料
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示　・
排水層　・軽量骨材 (層の厚さ　:　)　・ 板状成型品
植込み用土　※ 改良土　・ 人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※ 図示　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※ 図示　・

(品質・性能・試験方法)
別表による

・屋上緑化軽量システム
樹木、芝及び地被類の樹種並びに種類、寸法、株立数等　※ 図示　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※ 図示　・
(品質・性能・試験方法)
別表による

工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1　・1.15　・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
支柱　・ 設置する (形式　・図示　・　)
かん水装置　・ 設置する (種類　・　)

摘　要	月　日			

株式会社 雨宮建築設計事務所
甲府市上石田4丁目7-7
TEL 055 (226) 6770番(代)
FAX 055 (226) 6750番
一級建築士 中田 雅弘 第343612号
一級建築士事務所 第1- 29571号
e-mail : info@amemiya-sekkei.com

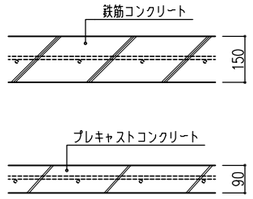
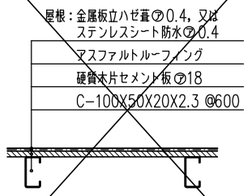
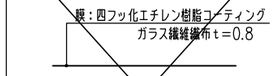
管理建築士	検図者	設計者	担当者

作 製

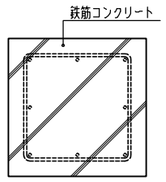
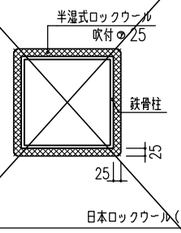
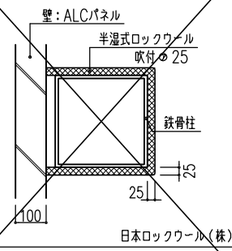
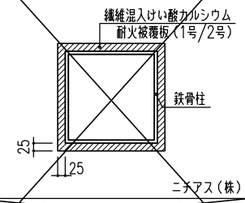
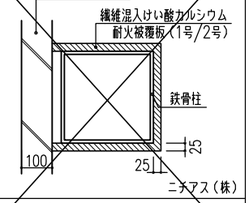
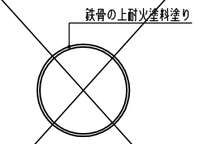
名 称　緑が丘スポーツ公園野球場本部棟建設(建築主体)工事
特記仕様書 (7)
縮 尺　－ (A1)　－ (A3)

図面番号 No. A 9

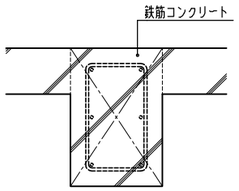
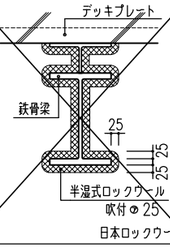
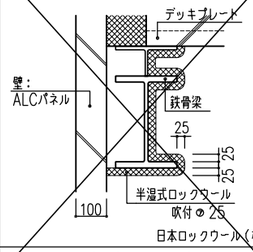
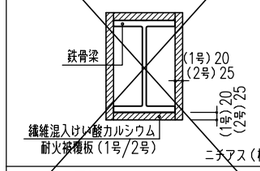
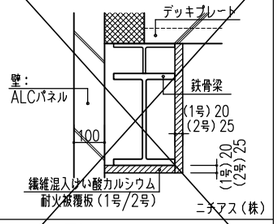
屋根・軒裏

仕様	屋根：30分耐火	屋根：30分耐火	屋根：30分耐火	屋根：30分耐火	屋根：30分耐火		
姿図							
認定番号	H12建告1399号・5	H12建告1399号・5	単純 支持≦2800 FP 030RF-0327 連続 支持≦3400 FP 030RF-0413 単純 支持≦3400 FP 030RF-0328 連続 支持≦4550 FP 030RF-0326		NFNN-9931		

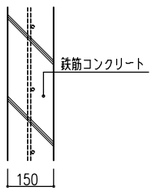
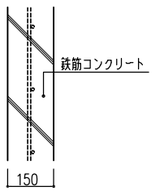
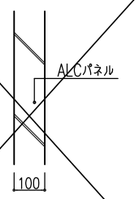
柱

仕様	柱：1時間耐火	柱：1時間耐火	柱：1時間耐火　（合成）	柱：1時間耐火	柱：1時間耐火　（合成）	柱：1時間耐火	
姿図							
認定番号	H12建告1399号・2・三	FP060CN-9460	FP060CN-9458	~~(1号) FP 060CN-9445~~ (2号) FP 060CN-9446	(1号) FP 060CN-9414 (2号) FP 060CN-9416	FP060CN-9401	

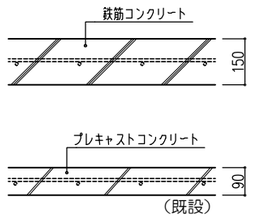
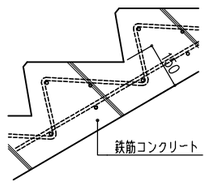
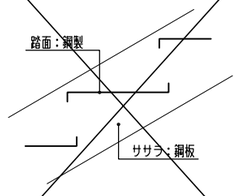
梁

仕様	梁：1時間耐火	梁：1時間耐火	梁：1時間耐火　（合成）	梁：1時間耐火	梁：1時間耐火　（合成）		免除規定
姿図							H12告示1399号第4-三-二 床から梁下端までの高さが4m以上の鉄骨造の小屋組でその直下に天井がないもの
認定番号	H12建告1399号・4・三	FP060BM-9408	FP060BM-9406	(1号) FP060BM-9393 (2号) FP060BM-9394	(1号) FP060BM-9362 (2号) FP060BM-9364		

壁

仕様	壁：1時間耐火（耐力壁）		壁：1時間耐火（非耐力壁）		壁：1時間耐火（非耐力壁）				
姿図									
認定番号	間仕切壁	H12建告1399号・1・二	間仕切壁	H12建告1399号・1・三	間仕切壁	H12建告1399号・1・三			
	外壁	H12建告1399号・1・五	外壁の延焼	H12建告1399号・1・六	外壁の延焼	H12建告1399号・1・六			

床・階段

仕様	床：1時間耐火	床：1時間耐火	床：1時間耐火		階段：30分耐火	階段：30分耐火	
姿図							
認定番号	H12建告1399号・3・二	連続支持床：FP 060FL-9095 単純支持床：FP 060FL-9101	FP 060FL-9119		H12建告1399号・6	H12建告1399号・6	

仕上材不燃認定番号	
PB ⑦12.5	不燃：NM-8619 (GB-R)
~~硬質PB ⑦9.5~~	~~不燃：NM-1005~~ ~~(GB-R-H)~~
シージングPB ⑦12.5	不燃：NM-9639 (GB-S)
岩綿吸音板 ⑦9, ⑦12	不燃：NM-8599
ケイ酸カルシウム板 ⑦6 以上	不燃：NM-8578
有孔ケイ酸カルシウム板 ⑦6 以上(下地も不燃)	不燃：NM-8578
化粧ケイ酸カルシウム板 ⑦6 以上	不燃：NM-4227
~~不燃メラミン化粧合板（キッチンボード）~~	~~不燃：NM-1699~~
~~繊維強化セメント板~~	~~不燃：NM-8576~~
繊維混入石膏ボード ⑦4～12	不燃：NM-2967
~~ビニルクロス（下地ボードも不燃）~~	~~不燃：NM-0457~~
~~布クロス（下地ボードも不燃）~~	~~不燃：NM-1762~~
~~グラスウール~~	~~不燃：NM-8665~~
発泡ウレタンフォーム	不燃：NM-4678
複層塗材（下地も不燃）	不燃：NM-8585
アクリル樹脂プラスター（下地も不燃）	不燃：NM-8572
SOP，VP，EP（下地も不燃）	不燃：NM-8585
~~四フッ化エチレン樹脂コーティングガラス繊維織布 ⑦0.8~~	~~不燃：NM-8665~~
PB ⑦9.5	準不燃：QM-9828 (GB-R)
~~耐水PB ⑦9.5~~	~~準不燃：QM-9826~~ ~~(GB-S)~~
~~化粧石膏ボード ⑦9.5~~	~~準不燃：QM-0524~~
~~硬質木片セメント板 ⑦12~~	~~準不燃：QM-9706~~

（単位：mm）

摘要	月	日			

株式会社 雨宮建築設計事務所
甲府市上石田4丁目7-7
TEL 055 (226) 6770番(代)
FAX 055 (226) 6750番
一級建築士 中田 雅弘 第343612号
一級建築士事務所 第1- 29571号
e-mail : info@amemiya-sekkei.com

管理建築士	検図者	設計者	担当者	名称	図面番号
				緑が丘スポーツ公園野球場本部棟建設(建築主体)工事	No. A 10
作製				耐火リスト　縮尺 1:10 (A1) 1:20 (A3)	

外部仕上表

スタンド	スタンド： PC版素地	手　　摺	： スチール製 溶融亜鉛メッキの上 DP	館銘板	： ステンレス製箱文字300角XD30 HL（12文字）
	横通路： PC版素地				
	縦通路： PC版後置固定	フェンス	スタンド： スチール製メッシュフェンス H=1800	サブスコアボード	： 設備工事（取付鉄骨（スチール製溶融亜鉛メッキの上 DP）共）
	腰　壁： PC版素地、コンクリート打放シ補修の上複層仕上塗材		ダッグアウト： スチール製メッシュフェンス（防護マット巻）H=900		
	巾　木： PC版素地、コンクリート打放シ補修の上塗膜防水 H=200				
	排水溝： PC版素地	門　扉	： スチール製溶融亜鉛メッキの上 DP	空調室外機置場	フェンス・門扉： スチール製メッシュフェンス
	ドレイン： 鋳鉄製 横引型、竪引型（蓋：CHR−4.5 溶融亜鉛メッキ仕上）				基　礎 ： 設備工事
					舗　装 ： 外構工事
スタンド軒天	： PC版素地	バックネット	ネット： [GL− 100~GL+ 2700] ステンレスネット 3.2φX100X50（ツヤ消し）		
			[GL+2700~GL+10000] 超高力高弾性率繊維ネット	排水溝	： モルタル金ゴテ押エ
庇	上　面： コンクリート金ゴテ押エの上塗膜防水		1600D/8本（φ1.65）X40X40		蓋 ： スチール製グレーチング（細目・ノンスリップ）溶融亜鉛メッキ仕上
	小　口： コンクリート打放シ仕上の上フッ素樹脂クリヤー吹付		ブラケット： スチール製溶融亜鉛メッキの上 DP		排水目皿： ステンレス製
	軒　天： コンクリート打放シ仕上の上フッ素樹脂クリヤー吹付		支　柱： コンクリート打放シ仕上の上フッ素樹脂クリヤー吹付		
	ドレイン： 鋳鉄製			雨水桝	： コンクリート二次製品
	竪　樋： カラー硬質塩ビ管	ベンチ	スタンド： 高密度ポリエチレンブロー成形品（背無個席）		蓋 ： スチール製グレーチング（細目・ノンスリップ）溶融亜鉛メッキ仕上
外　壁	グランド側： コンクリート打放シの上防護マット張㊀50（グランド面+100~設計GL+2400マデ）			排水管	： 硬質塩ビ管
	コンクリート打放シ補修の上複層仕上塗材、PC版の上複層仕上塗装（上記以外）	エントランスポーチ	床 ： 磁器質タイル張150角		
	側　面： コンクリート打放シ補修の上複層仕上塗材		巾　木： コンクリート打放シ仕上 目地分レ H=200		
	場外側： コンクリート打放シ補修の上複層仕上塗材、PC版の上複層仕上塗材		外　壁： コンクリート打放シ補修の上複層仕上塗材		
	柱形・梁形： コンクリート打放シ仕上の上フッ素樹脂クリヤー吹付		軒　天： コンクリート打放シ仕上の上フッ素樹脂クリアー吹付		
巾　木	グランド側： コンクリート打放シ補修の上複層仕上塗材 目地分レ H=100	一塁側選手用入口	床 ： モルタル金ゴテ押エ 目地切		
	側　面： コンクリート打放シ仕上 目地分レ H=200	ポーチ			
	場外側： コンクリート打放シ仕上 目地分レ H=200				
		三塁側選手用入口	床 ： モルタル金ゴテ押エ 目地切		
樋	竪　樋： 配管用鋼管製 溶融亜鉛メッキの上DP	ポーチ	巾　木： コンクリート打放シ仕上 目地分レ H=200		
	カラー硬質塩ビ管		踏面・蹴上： モルタル金ゴテ押エ（段鼻：ノンスリップタイル張）		
	ステンレスパイプ HL				
	ドレイン： 鋳鉄製	屋外階段	踏面・蹴上： モルタル金ゴテ押エの上塗膜防水（段鼻：ノンスリップタイル張）		
		(1)(2)	ササラ： コンクリート打放シ補修の上塗膜防水 H=200		
建　具	出入口： ステンレス製HL、スチール製DP（グラウンド側：防護マット張）、		腰　壁： コンクリート打放シ補修の上複層仕上塗材		
	： アルミ製（電解着色）				
	窓 ： アルミ製（電解着色）	屋外階段	踏面・蹴上： モルタル金ゴテ押エの上塗膜防水（段鼻：ノンスリップタイル張）		
	シャッター： スチール製溶融亜鉛メッキの上 DP	(3)(4)	ササラ： コンクリート打放シ補修の上塗膜防水 H=200		
			腰　壁： コンクリート打放シ補修の上複層仕上塗材		

一般共通事項（外部）

1，野球場本部棟の設計ＧＬは、292.25（ホームベース上）とする。
2，特記無き限り、天井下地は軽量鉄骨下地（外部仕様）とする。
3，特記無き限り、屋外の鉄部見え掛りは溶融亜鉛メッキの上ＤＰとする。
4，コンクリートの増打は特記無き限り、外部：２０ｍｍとする。
5，コンクリート打放シは仕上面をＡ種、下地面はＢ種とする。
6，コンクリート金ゴテ押エ目地切及びモルタル金ゴテ押エ目地切の目地は@１５００内外とする。
7，ステンレスは特記無き限りＳＵＳ３０４とする。
8，溶融亜鉛メッキの上ＤＰ塗装部の下地は、溶融亜鉛メッキ面をリン酸処理の上エポキシ錆び止め処理を行うものとする。
9，喚起誘導ブロックは、磁器質タイル150角×２列とする。

摘要	月 日			

株式会社 雨宮建築設計事務所
甲府市上石田4丁目7-7
TEL 055 (226) 6770番(代)
FAX 055 (226) 6750番
一級建築士 中田 雅弘 第343612号
一級建築士事務所 第1- 29571号
e-mail : info@amemiya-sekkei.com

管理建築士 | 検図者 | 設計者 | 担当者
作製

名称 緑が丘スポーツ公園野球場本部棟建設(建築主体)工事
外部仕上表
縮尺 − (A1) − (A3)

図面番号 No. A 11

内部仕上表

階	室名	居室(測定)	床 FLH	床 仕上	床 下地	巾木 仕上	巾木 H	壁 仕上	壁 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井 下地	天井 CH	備考 建築工事	備考 設備工事
1階	エントランスホール	−	±0	磁器質タイル張 150角	RC	磁器質タイル張 150角	100	コンクリート打放し補修の上 アクリル樹脂プラスターコテ塗	−	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2600	受付カウンター、床見切	−
	通路(1)(2)	−	±0	ウレタン舗装@8	RC	ビニル巾木	75 300	コンクリート打放し補修の上 EP	−	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2600	床見切、消火器ボックス、消火器	−
	本部室	1	±0	長尺塩ビシート貼@2.5	RC	ビニル巾木	75	(間仕切)コンクリート打放し補修の上EP (外壁面)PB@12.5+@12.5の上EP (外壁裏面:断熱材吹付)	− LGS	PB@12.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2300	カウンター、ブラインド	空調機、換気扇
	放送室	1	±0	長尺塩ビシート貼@2.5	RC	ビニル巾木	75	有孔ケイ酸カルシウム板@8目透張の上EP (グラスウール@50充填) (外壁裏面:断熱材吹付)	LGS	PB@12.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2300	カウンター、ブラインド	空調機、換気扇
	審判員室	1	±0	長尺塩ビシート貼@2.5	RC	ビニル巾木	75	(間仕切)コンクリート打放し補修の上EP (外壁面)PB@12.5+@12.5の上EP (外壁裏面:断熱材吹付)	− LGS	PB@12.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2300	カウンター、姿見、ブラインド	空調機、換気扇
	車椅子用観覧室	1	±0	長尺塩ビシート貼@2.5	RC	ビニル巾木	300	(間仕切)コンクリート打放し補修の上EP (外壁面)PB@12.5+@12.5の上EP (外壁裏面:断熱材吹付)	− LGS	PB@12.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2300	カウンター、ブラインド	空調機、換気扇
	救護室	1	±0	長尺塩ビシート貼@2.5	RC	ビニル巾木	75	(間仕切)コンクリート打放し補修の上EP (外壁面)PB@12.5+@12.5の上EP (外壁裏面:断熱材吹付)	− LGS	PB@12.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2300	面台、カーテンレール、カーテン、ブラインド	手洗器、空調機、換気扇
	事務室	1	±0	タイルカーペット貼	FA	ビニル巾木	75	(間仕切)コンクリート打放し補修の上EP (外壁面)PB@9.5+@12.5の上EP (外壁裏面:断熱材吹付)	− LGS	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2600	受付カウンター、ミニキッチン、ブラインド	空調機、換気扇
	多目的便所	−	±0	長尺塩ビシート貼@2.5	RC	ステンレス箔ビニル巾木(HL)	75	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材 モルタル金ゴテ押エの上複層仕上塗材	− CB	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2500	面台	大便器、洗面器、オストメイト、化粧鏡、手摺、ベビーシート、ベビーチェア、換気扇
	男子便所	−	±0	長尺塩ビシート貼@2.5	RC	ステンレス箔ビニル巾木(HL)	75	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材 モルタル金ゴテ押エの上複層仕上塗材	− CB	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2500	洗面カウンター、トイレブース、スクリーン、化粧鏡 面台、汚垂石、床下点検口	大便器、小便器、洗面器、手摺、換気扇
	女子便所	−	±0	長尺塩ビシート貼@2.5	RC	ステンレス箔ビニル巾木(HL)	75	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材 モルタル金ゴテ押エの上複層仕上塗材	− CB	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2500	洗面カウンター、トイレブース、スクリーン、化粧鏡 面台、床下点検口	大便器、洗面器、SK、手摺、換気扇
	更衣室(1)(2)	−	±0	ウレタン舗装@8	RC	コンクリート打放し仕上 目地分レ	100	(間仕切)コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材 (外壁面)PB@12.5+ケイ酸カルシウム板@6 目透張の上複層仕上塗材	− LGS	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2600	棚、姿見	換気扇
	通路(3)	−	±0 +220	ウレタン舗装@8	RC	コンクリート打放し仕上 目地分レ	100	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材	−	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2720 2500	手摺、段鼻ノンスリップ金物、消火器ボックス 消火器	−
	通路(4)	−	±0	ウレタン舗装@8	RC	コンクリート打放し仕上 目地分レ	100	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材	−	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2750 2500	消火器ボックス、消火器	−
	ダッグアウト (1)(2)	※	−100 (水上)	ウレタン舗装@8	RC	コンクリート打放し補修の上 複層仕上塗材(トップコートのみ)	100	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材	−	シージングPB@12.5の上 繊維混入石膏板張@6 EP	V	LGS	2500	ベンチ、バットケース、ヘルメット棚、棚、フック フェンス、面台、消火器ボックス、消火器、竪樋	−
	避手用便所 (1)(2)	−	−100	ウレタン舗装@8	RC	コンクリート打放し仕上 目地分レ	100	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材 モルタル金ゴテ押エの上複層仕上塗材	− CB	ケイ酸カルシウム板@6目透張 EP コンクリート打放し補修の上 EP	V	LGS −	2350	トイレブース、面台	大便器、小便器、手洗器、化粧鏡、換気扇
	観客用男子便所 (1)(2)	−	(1)+220 (2)+250	磁器質タイル張 100角	RC	磁器質タイル張 100角	100	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材 モルタル金ゴテ押エの上複層仕上塗材	− CB	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2500	トイレブース、スクリーン、面台、汚垂石、 床下点検口	大便器、小便器、洗面器、SK、手摺、化粧鏡、換気扇
	観客用女子便所 (1)(2)	−	(1)+70 (2)+250	磁器質タイル張 100角	RC	磁器質タイル張 100角	100	コンクリート打放し補修の上複層仕上塗材 モルタル金ゴテ押エの上複層仕上塗材	− CB	PB@9.5捨張の上岩綿吸音板張@12	V(底目)	LGS	2500	トイレブース、スクリーン、面台、 床下点検口	大便器、洗面器、手摺、化粧鏡、 換気扇
	用具庫	−	−100	コンクリート金ゴテ押エ 目地切	−	コンクリート打放し仕上 目地分レ	100	コンクリート打放し仕上 CB@150 化粧積	−	コンクリート打放し仕上	−	−	直天	竪樋	−
	砂置場	−	−100	コンクリート金ゴテ押エ 目地切	−	コンクリート打放し仕上 目地分レ	100	コンクリート打放し仕上 CB@150 化粧積	−	コンクリート打放し仕上	−	−	直天	砂止矢板、矢板受ガイドレール、竪樋	−

一般共通事項(内部)

1, 床高(FLH)は基準1FLよりの仕上高さを示す。(基準1FL=GL±0)
2, 「測定」は化学物質の濃度測定を行う室(居室)を示し、数値は各室の測定箇所数を示す。(※印は居室であるが屋外のため測定不要)
3, 特記無き限り、天井下地は軽量鉄骨下地(内部仕様)とする。
4, 額縁は特記なき限りアルミ製電解着色とする。
5, 特記なき限り鉄部見え掛りはSOPとする。
6, コンクリートの増打は特記無き限り、内部:20mmとする。
7, コンクリート打放しは仕上面をA種、下地面はB種とする。
8, コンクリート金ゴテ押エ目地切 及び モルタル金ゴテ押エ目地切 の目地は@1500内外とする。
9, 便所のトイレブースは高圧メラミン樹脂板フラッシュ@40 H=2000とする。
10, 面台、洗面カウンターは特記無き限り、メラミンポストフォームとする。
11, 居室の外部に面する壁でボード仕上のある部分は、発泡ウレタンフォーム@25吹付とする。
12, 特記無き限り、天井のある屋内部のスタンド段床裏面(PC面, RC面)及び梁面は発泡ウレタンフォーム@15吹付とする。
13, 特記無き限り壁のCBはC種 t=150mm、ライニング用CBはA種 t=100mmとする。
14, ステンレスは特記無き限りSUS304 HLとする。
15, 1階土間コンクリート下は、防湿シート(ポリエチレンフィルム@0.15) 敷込とする。(ピット部は除く)
16, 1階の土間コンクリート下には断熱材(フォームポリスチレンボード@50)敷込とする。
(ダッグアウト、用具庫、砂置場、及び配管ピット部は除く)
17, 用具庫、砂置場の竪樋は防露巻とする。
18, 消火器はABC10型とする。

凡例(塗装)		凡例(下地)		凡例(廻り縁)	
SOP	合成樹脂調合ペイント塗	RC	鉄筋コンクリート	V	塩ビ製
EP	合成樹脂エマルションペイント塗	M	モルタル下地	V(底目)	塩ビ製底目
UC	2液性ポリウレタン樹脂ワニス塗	FA	フリーアクセスフロア		
DP	常温乾燥型フッ素樹脂塗装	LGS	軽量鉄骨下地		
		CB	CB積@150		

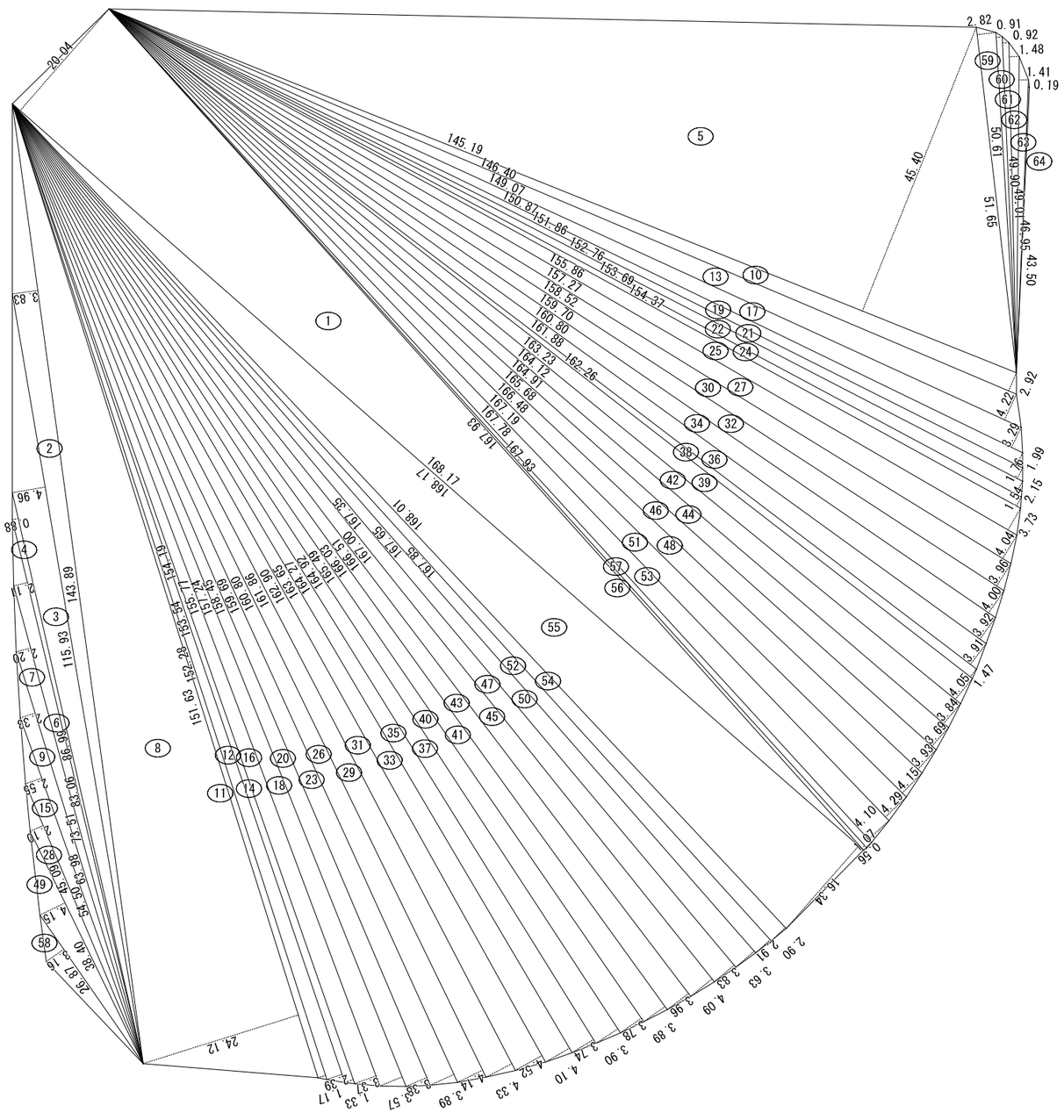
摘要 | 月 日

株式会社 雨宮建築設計事務所
甲府市上石田4丁目7-7
TEL 055(226)6770番(代)
FAX 055(226)6750番
一級建築士 中田 雅弘 第343612号
一級建築士事務所 第1-29571号
e-mail : info@amemiya-sekkei.com

管理建築士 | 検図者 | 設計者 | 担当者
作製

名称 緑が丘スポーツ公園野球場本部棟建設(建築主体)工事
内部仕上表
縮尺 − (A1) − (A3)

図面番号 No. A 12



敷地求積表

番号	底　　辺	高　　さ	倍　　面　　積	面　　積
1	168.17	20.04	3,370.1268	1,685.06340
2	143.89	3.83	551.0987	275.54935
3	115.93	4.96	575.0128	287.50640
4	86.99	0.88	76.5512	38.27560
5	145.19	45.40	6,591.6260	3,295.81300
6	83.06	2.11	175.2566	87.62830
7	73.51	2.20	161.7220	80.86100
8	151.63	24.12	3,657.3156	1,828.65780
9	63.98	2.33	149.0734	74.53670
10	146.40	2.92	427.4880	213.74400
11	152.28	1.17	178.1676	89.08380
12	153.54	2.39	366.9606	183.48030
13	149.07	4.22	629.0754	314.53770
14	154.19	1.33	205.0727	102.53635
15	54.50	2.55	138.9750	69.48750
16	155.77	3.37	524.9449	262.47245
17	150.87	3.29	496.3623	248.18115
18	157.24	3.57	561.3468	280.67340
19	151.86	1.99	302.2014	151.10070
20	158.45	3.38	535.5610	267.78050
21	152.76	1.76	268.8576	134.42880
22	153.69	2.15	330.4335	165.21675
23	159.69	3.89	621.1941	310.59705
24	154.37	1.54	237.7298	118.86490
25	155.86	3.73	581.3578	290.67890
26	160.80	4.14	665.7120	332.85600
27	157.27	4.04	635.3708	317.68540
28	45.09	2.10	94.6890	47.34450
29	161.86	4.33	700.8538	350.42690
30	158.52	3.96	627.7392	313.86960
31	162.90	4.52	736.3080	368.15400
32	159.70	4.00	638.8000	319.40000
33	163.65	4.10	670.9650	335.48250
34	160.80	3.92	630.3360	315.16800
35	164.27	3.74	614.3698	307.18490
36	161.88	3.91	632.9508	316.47540
37	164.92	3.90	643.1880	321.59400
38	162.26	1.47	238.5222	119.26110
39	163.23	4.05	661.0815	330.54075
40	165.49	3.78	625.5522	312.77610
41	166.03	3.89	645.8567	322.92835
42	164.12	3.84	630.2208	315.11040
43	166.51	3.96	659.3796	329.68980
44	164.91	3.69	608.5179	304.25895
45	167.00	4.09	683.0300	341.51500
46	165.68	3.93	651.1224	325.56120
47	167.35	3.83	640.9505	320.47525
48	166.48	4.15	690.8920	345.44600
49	38.40	4.15	159.3600	79.68000
50	167.65	3.63	608.5695	304.28475
51	167.19	4.29	717.2451	358.62255
52	167.85	2.91	488.4435	244.22175
53	167.78	4.10	687.8980	343.94900
54	168.01	2.90	487.2290	243.61450
55	168.17	16.34	2,747.8978	1,373.94890
56	167.93	0.56	94.0408	47.02040
57	167.93	1.07	179.6851	89.84255
58	26.87	3.16	84.9092	42.45460
59	51.65	2.82	145.6530	72.82650
60	50.61	0.91	46.0551	23.02755
61	49.90	0.92	45.9080	22.95400
62	49.01	1.48	72.5348	36.26740
63	46.95	1.41	66.1995	33.09975
64	43.50	0.19	8.2650	4.13250
合　　計				21,189.90660
敷地面積				21,189.90 m²

摘　要	月　日			

株式会社　雨宮建築設計事務所
甲府市上石田4丁目7-7
TEL　055（226）6770番（代）
FAX　055（226）6750番
一級建築士　中田 雅弘　第343612号
一級建築士事務所　第1- 29571号
e-mail : info@amemiya-sekkei.com

管理建築士	検図者	設計者	担当者

作　製

名　称　緑が丘スポーツ公園野球場本部棟建設（建築主体）工事

敷地 求積図 求積表

縮　尺　1：400(A1)　1：800(A3)

図面番号　No. A　13